

科目名	基礎演習 I B					単位	2.0
担当教員	Burenina Yulia						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	2204

●授業のテーマ

基礎学力の養成方法：岩倉使節団の研究を例として

●到達目標

高校までの教育方法から大学での研究方法へスムーズに移行できるようになる。ゼミ発表、レポートや卒業論文作成のための基礎的な方法論を身につける。

●学習内容(授業概要)

この授業では、ノートの取り方、資料の探し方、テキストの読み方などの学習方法を学び、そしてその学習方法に基づいて、1871年-1873年にアメリカとヨーロッパ諸国を訪問した岩倉使節団について学習する。なお、学習資料としては、久米邦武の『米欧回覧実記』（5巻）と『岩倉使節団の米欧回覧』（DVD）を使う。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション（岩倉使節団とは）
2. ノートの取り方（使節団の出発）
3. テキストの読み方（久米邦武の『米欧回覧実記』、アメリカの大陸横断の旅）
4. レポートの書き方（ワシントン滞在と東部回覧）
5. 資料の探し方（大英帝国を往く、英国の光と影）
6. 大学図書館の使い方（パリとフランスの底力）
7. 書評の書き方（ドイツとロシア）
8. ゼミ発表の仕方（イタリア、そしてアルプスの国へ）
9. 大学の試験について（中東・アジアの植民地帯回覧、そして帰国）
10. ゼミ発表（1）
11. ゼミ発表（2）
12. ゼミ発表（3）
13. ゼミ発表（4）
14. ゼミ発表（5）
15. 総括

●準備学習・事後学習の内容

与えられたテキストをあらかじめ読んでおくこと。選んだテーマでレポートを作成すること。

●成績評価方法・基準

出席を含む平常点、ゼミ発表、レポートによる総合的評価。

●テキスト（必携）

授業時に配布

●参考文献／その他

『大学生 学びのハンドブック』世界思想社、2008 年

『現代語訳 特命全権大使 米欧回覧実記』（全 5 巻）慶応義塾大学出版会、2008 年

●履修上の注意

授業中の私語が厳禁。遅刻・欠席しないなど、受講の上の基本的態度を守ること。出された課題をちゃんとこなすこと。